

# 校内研修計画

甲州市立玉宮小学校

## 1 学校課題

本校は小規模校ではあるが、現代社会が抱える諸課題は子どもたちの生活に影響を与えている。スマートホンやタブレットの普及により、遊びや家庭生活の変化が見られる。自然体験・社会体験など子どもの学びを支える直接体験の機会が減ってきている。このような時代の中だからこそ、恵まれた自然環境を生かし、学校生活の中で体験学習を増やす取組を大切にしていきたいと考える。

小規模校のよさとして、学校行事や児童会活動等において、「児童一人一人の個別の活動機会を設定しやすい」、「児童相互の人間関係が深まりやすい」、「異学年間の縦の交流が生まれやすい」等がある。また、小規模校の課題として、「集団の中で多様な考え方に触れる機会や学びあいの機会、切磋琢磨する機会が少なくなりやすい」、「人間関係や相互の評価等が固定化しやすい」がある。それらデメリットへの対応として ICT 機器の導入を図り、他校との交流授業や iPad の活用を通して伝え合う力の育成に取り組んできた。これからは、情報機器を活用することはもちろんだが、子ども一人一人が主体的に思考、判断、表現できる場の設定や子どもの考える力を伸ばしていく指導方法の工夫が必要である。

## 2 研究主題

### 個を高める 確かな学力の育成

～ 少人数学級での主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり ～

## 3 主題設定について

本校ではこれまで、単元や授業の目標を達成するために、言語活動・観察・実験・問題解決的な学習などを効果的に取り入れることで、「知識」「技能」「思考力」「判断力」「表現力」をバランスよく育むための取組を充実させてきた。校内研究では、昨年度より新学習指導要領の改訂に向けて、新たに研究主題を設定し取り組んできた。そこで、「主体的・対話的で深い学び」についての文科省関係講師による研修 VTR や授業研究を通して「主体的・対話的で深い学び」についての理解を図ってきた。今後さらに、「主体的・対話的で深い学び」について「主体的」とは何か、「対話的」とは何か、「深い学び」とは何か、またそれらを目標とした児童の反応や行動について考えを共通理解し研究を深めていきたい。更に、「主体的・対話的で深い学び」についての系統性を考えた到達目標の設定や目標到達を検証するための定義設定ができるよう、研究を前進させていきたいと考える。また、甲州市の「確かな学力育成プロジェクト」と連携し、「主体的・対話的で深い学び」を達成する授業づくりを進めていく。

## 4 研究の具体的内容と方法

### (1) 授業研究

- 全学級による授業実践
- 指導主事を招聘しての授業研究

### (2) 児童の実態の把握

- 全国学力・学習状況調査の問題と結果の分析
- 「h-QU」による各学年の児童の実態把握

(3) 理論研究

- 新学習指導要領や教育課程編成に関する研究
- 指導主事やインターネット講義による研修
- 各種研修内容の還流報告（道徳，学力調査，外国語）
- 道徳についての研究

(4) 地域学習

- 地域学習の取組

(5) 学習規律・習慣の確立

- 「h-QU」を生かした学級集団づくり
- 朝学習の時間の有効活用

## 年間校内研修計画

滝島 正彦

研究テーマ	教科領域等	担当者	学年	授業の 時期	TC 要請
学校課題・研究主題・主題設定の理由		滝島			
研究の方向性の決定・日程について		滝島			
確かな学力育成プロジェクトについて		滝島			
edutabの使い方	I C T活用	担当			
学習会 「主体的・対話的で深い学び」		滝島		5月	○
h-QUの結果分析 今後の取り組みについて検討		各学年	全		
学習会 「道徳教育」について		青木 滝島			
家庭学習の取り組みについて		各学年			
全国学力・学習状況調査の分析		滝島			
教育課程環流報告		各担当			
一校一実践について		各学年			
授業案検討		青木	1年		
研究授業		青木	1年	10月	○
新学習指導要領について		滝島			
ふるさと学習内容と発表について		各学年			
教育課程編成について		滝島			
研究の成果と課題		滝島			